

【地域連携部会】 第1回記録

・先生方の業務がとて多いと聞く。地域のボランティアサークル等の若い力を借りるといいのではないかな。

・学生時代にするボランティアは、南支援の児童生徒にとってのメリットだけでなく、学生自身にも大きなメリットがある。人との関わり方そのものやいろいろな立場や考え方があることを知るよい機会になる。

・岡山南支援学校では学校支援ボランティアを行っているが、イベント時だけの募集ではなく、普段の授業にもっと入ることができるようなシステムにならないかな。

→実施している。昨年度くらいから授業支援のボランティアが増えてきているが、まだまだ数は少ない。

・ボランティア等で地域の人が入ることにも意義があるはず。地域の人々の反応を生徒が知ること大切だと思う。また、先生以外の人からどう見られているか？という評価も大切だと思う。

・学生ボランティア募集のアナウンスについては、教育系の大学に声を掛けるだけでなく、福祉系の分野を学ぶ学生にも声を掛けてみてはどうか？福祉の資格を取ることのできる専門学校の学生に呼びかけると反応がいいと聞いたことがある。

・ICT 関係の仕事に苦労している先生もいるのではないかな？若い学生たちにとっては、ICT へのなじみもよいはず。ICT 関係の仕事のサポートもできるのではないかな。

・昨年度、小学部が地域のお年寄りを呼んで「むかし遊び」の活動を企画していたのがよかった。今年度もぜひ実施したい。

・地域の販売活動を活発にしていけるとよいと思うが、どのようにしていけばよいかアイデアが欲しい。

・販売時にただ販売するだけでなく、もっと商品の PR をしてみてもどうか。例えば試供品や試食品の配付も効果的だと思う。まずは地域の人に知ってもらうことが大切なのでは？

・今の商品に満足するのではなく、アップデートしていくことも大切だと思う。せっかく地域の人々の手を借りるのであれば、お客さんからの商品に対する評価をもらう工夫をしてみてもどうか。アンケートやインタビューなど、商品づくりの改良に繋がるとよいと思う。